

1-P-32 2モーラ語/ee/におけるパラ言語情報の認知に対する F0 およびモーラ継続長の影響

Influence of F0 and Duration on Paralinguistic Information Recognition for 2 Morae Vowel Word /ee/

△竹川弘一(島根大学・総合理工), ○小林聡(島根大・総情セ)

- ◆/ee/という母音 2 モーラ語において, 声の高さおよびモーラ継続長の変化から, 人間がどのようなパラ言語情報を受け取るのかを調べるため, 合成音声を作成し, 聴取実験を行った.
- ◆被験者 30 名は, 28 個の印象語について各々5 段階で評価した.
- ◆実験結果より, 目視および回帰係数を用いて, モーラ継続長の増減により 28 個の印象語の受け取りやすさがどう変化していくかを調べ, 下記の7 つグループに分類することが出来た.

	印象語	F0 の高さの変化 (正)の音声の 回帰係数	F0 の高さの変化 (負)の音声の 回帰係数
1	「悲しみ」, 「不満」, 「落胆」, 「怒り」, 「軽蔑」, 「嫌悪」, 「苛立ち」	多くの回帰係数が正の値であった。 負の値の場合でも 0 に近い値である。	
2	「安堵」, 「満足」, 「冷静」, 「肯定」, 「相槌」, 「自信あり」	—	大きな負の値の傾向
3	「同情」, 「喜び」	0 に近い値の傾向	
4	「無関心」	正の値の傾向	やや負の値の傾向
5	「驚き」, 「疑問」, 「不安」, 「自信なし」	負の値の傾向	正の値の傾向
6	「信頼」, 「感心」, 「慎み」, 「好意」, 「中立」	多くの回帰係数が負の値であった。 正の値の場合でも 0 に近い値である。	
7	「恐れ」, 「高揚」, 「強調」	—	—